

世田谷支部青年部活動経験報告

～ 支部結集のための関係作りの1年 ～

2014年2月23日

本部青年部大会

副部長 早坂 博充

1. はじめに

今年度より新部長になり、部会やイベントの参加人数が増えつつある状況になってきています。昨年度まで私が部長をしていた時期は青年部の役員を始めとする部員の世代交代や担当書記の引き継ぎが上手くいかず、支部への結集が厳しい状況に陥っていました。多くの部員を集めるために懸命に部員拡大やイベントの声掛けに奔走し、青年部の案内を送るところまでは順調なのですが、そこから先の部会やイベントへの参加に結び付けることが出来ずにいました。今年度は部会参加平均9名（昨年7名）と支部への結集が進んできていますので、支部への結集強化と西部ブロック・本部への結集へ向けての活動報告をさせていただきます。

2. 世田谷支部青年部について

前述しましたが、世田谷支部青年部は役員体制を変更し、気持ち新たに4月から積極的に活動してきました。世田谷支部の青年部では季節ごとにイベントを開催し、イベント参加を通じて支部への結集を目指して取り組んでいます。また、支部イベントへ積極的に関わることで支部・分会での青年部活動の確立や繋がりの強化を図っています。

青年部独自では、春（6月）・夏（8月）・秋（11月）・冬（12月、2月）と季節ごとのイベントや情勢や組合業務に対する学習会を開催し、多くの青年組合員へ声を掛け、結集に向けて活動しています。今年度は、春はシミュレーションゴルフ、夏は相模湖でのキャンプ、秋は三浦半島へのバスハイク、冬は毎年恒例のクリスマスパーティーとスキースノーボードツアーを開催しました。イベントの平均参加は家族合わせて20名ほどとまだまだ少ない状況ではありますが、イベント参加者は昨年度、一昨年度と比べると増えている状況です。

また、支部イベントでは、7月の納涼祭、10月の運動会、1月のもちつき大会という恒例行事に参加しています。7月の納涼祭では、射的・スーパーボールすくい・金魚すくいを担当し、1月のもちつき大会では焼き鳥・フランクフルト・おでんを担当して、地域の方や組合内の方達と交流を深めています。納涼祭もちつき大会もともに毎回300名を超える来場者があり、10月の運動会は700名近い参加者がある世田谷支部で最も大きなイベントに実行委員として、また各分会のエースとして参加しています。

3. 青年部支部への結集に向けた取り組み

前項でも触れましたが、世田谷支部青年部では季節ごとの独自イベントや学習会と支部イベントへの参加を通じて支部結集を図っています。イベントの案内をすることで繋がりを作り、参加してもらったことで繋がりを強めていき、部会にも参加してもらおうということで取り組んでいます。

そんな中で今年、イベントや部会への参加者が増えている理由は『拡大』にあると考えています。昨年までの拡大では対象者訪問を実施してもなかなか会えず、電話でのやり取りなど結局は名前だけの拡大になってしまっていました。しかし、今年は分会センター訪問と対象者訪問と両方を行い、青年部独自のチラシ・タオル・手ぬぐいを用いて、分会で若い子が入ったら青年部のチラシを渡してもらえらるようになしつつ、対象者への訪問では直接青年部の今までの活動とこれからのイベントを案内して声掛けを行いました。特に秋の拡大月間では事業所の社長や親方と一緒に部会に参加してもらって青年部活動の理解を深めることで部会への参加やイベントへの参加を促してきました。

また、部員同士の繋がりで入部した組合員の参加が多くなっており、部員との横のつながりが強くなっていることが感じられるようになりました。さらに10代や20代前半の子の入部があり、部会やイベントに参加してくれることで今までにはなかった活気が生まれています。事業所や親方まで囲い込みながらお互いの関係を深め、活動家としての定着を図っています。

各イベントでは、以前より交流のある保育士さんを中心に声掛けを行い、女性の参加もある程度あるため、独身青年部員の呼び水となっています。

4. 支部結集から本部へ

現在、世田谷支部青年部は支部への結集を強める取り組みの途中です。支部のイベントの協力も役員中心であり、大きなイベントでは1人でも多くの協力を必要とします。まずは支部への結集を強めること、それと同時に後継者を育てること。本部への結集に向けてこの2点が重要だと考えています。今、部会やイベントに参加しつつある部員との関係を強化し、定着を図り、青年部の活動を通して組合活動を学ばせ、後継者としての育成に取り組んでいきます。

この1年で得た教訓をもとに引き続き拡大、青年部活動に取り組んでいきます。そして、まずは西部ブロックへの参加を増やし、本部への結集と順序を追って取り組んでいきます。